

Shiogama Ichijyo

塩竈一常さん パーソナリティ 一関市山目 33歳



コミュニティFMは、リスナーからのリアクションがないと成り立ちません。リスナーの反応を受けとってただ流すのではなく、しっかり受け止めることが大事だと思っています。同じ一関に住む市民として、心のこもった返し方を心掛けます。聴く人、参加する人、関わった人全員がリスナーであり、番組制作者であると思ってもらえるよう、心を引きつける魅力的な番組を提供していきます。

Sato Yoshinobu

佐藤嘉信さん ディレクター 藤沢町新沼 28歳



これまで学んできた放送の技術を生かせる仕事に就きたいと考えていました。ディレクターとして放送素材の準備や放送機材の操作などを担当します。ラジオの仕事は初めてですが、仕事を通して自分自身も高めていきたいです。「あすも」は情報を発信するだけのラジオではありません。リスナーの皆さんと共に明日の古里をつくっていく放送局です。皆さんのご意見やご要望をお待ちしています。

Kawai Junko

河合純子さん パーソナリティ 室根町折壁 37歳



大学時代、アナウンスアカデミーで学び、24歳からこの仕事に携わっています。FMあすもでは「Happiness」のメインパーソナリティとして、月曜から金曜の午前中に、ニュース、天気予報や交通情報をわかりやすくお伝えします。声で伝える仕事は、わかりやすい言葉と正しい発音が大事。これまで経験してきたことを生かして、たくさんの人たちに聴いてもらえる番組を提供します。

Nitta Kieko

新田貴江子さん 事務 東山町松川 34歳



事務全般を担当します。ゼロからのスタート。裁量を与えられやりがいを感じています。パーソナリティやスタッフが十分に力を発揮できるような環境づくりを心掛けます。「あすも」は公共性の強い媒体です。皆さんの心に寄り添って、信頼され、末永く親しまれるラジオ放送ができるよう本気で取り組みます。市民の皆さんも、ラジオを存分に活用して一緒によりよいまちをつくりましょう。

Sugawara Marie

菅原万理恵さん パーソナリティ 川崎町薄衣 25歳



生まれ育ったまちで何かできることはないだろうかと考えました。ラジオを通して、地域の元気を広げていきたいと思いました。一関には自分の知らない歴史や文化がたくさんあります。まずは地域を知ることが大事だと気付きました。市民の皆さんの声や身近な情報がたくさん集まると嬉しいです。パーソナリティ、リポーターとして各地を回り、一関の結束力を高められる番組を作りたいです。

Sato Koya

佐藤恒弥さん 営業 千厩町奥玉 25歳



FMあすもの営業担当です。コミュニティFM放送を通じて、この地域の発展に貢献したいです。皆さんと直接触れ合って、交流を深めながら、市民参加型の楽しいラジオにしたいです。「言葉」はラジオの命です。私も営業の仕事で「言葉」を大事にしています。一関地域初のラジオ局です。皆さんが必要な情報をいち早く、そして正確に伝えます。ぜひ聴いてください。

繫

人と人をつなぐ
地域と地域を結ぶ
FMの可能性

電波という見えない糸で、人と人、地域と地域、現在と未来をつなぐFMあすも。情報が地域の発展に大きく影響する時代、あすもでつながるコミュニティは、無限の可能性を秘めています。明日を開く鍵はリスナーの私たちが握っています。

地域の価値や魅力を
発掘・発信するメディア

市内には、地産の新鮮な食べ物、歴史や文化が香る観光名所、古くから継承されてきた伝統芸能や地域行事などさまざまな資源があります。それらは一関の価値であり、魅力です。しかし、私たちが気付いていない資源がまだまだ眠っていることも事実です。リスナーから寄せられる「地元ネタ」やコミュニティFMが発信する情報をきっかけに、新

しい価値や魅力を発掘できる
かもしれません。

たとえば、小さくても優れた技術を持つ企業、地元の人にしか知られていない隠れた名店などを電波に乗せて紹介、地域の活性化につなげていくこともできるのです。

内外の交流を促進する
コミュニティ放送

コミュニティ放送は、市民はもとより市外から訪れた人に聴いてもらうこともできます。一関を訪れた人が、電波を

Chiba Kouji

千葉康司代表取締役副社長・放送局長 川崎町門崎 52歳

市が整備した環境を有効に活用したい

高校時代から、この仕事に携わりたいと思っていました。

岩手宮城内陸地震と東日本大震災、2つの大きな災害を経験し、ラジオの必要性を痛感しました。

市がラジオを全世界に配布したことは「あすも」にとって大変ありがたいことです。私たちは、整えられた環境を有効に活用して広く、素早く、正確に情報を伝えます。質の高い番組の提供と安定した経営が放送責任者としての自分の使命。市民参加型をモットーに、リスナーの心と心をつなぐラジオを目指します。



旧ダイエー1階に設置されたサテライトスタジオ。気軽に見ることが出来ます

地域の一体感を醸成する
市民の財産

市町村合併で県内2番目の面積になった一関市。広大な市域の中で地域と地域のつながりがこれまで以上に重要になった今、コミュニティFMはその一体感を醸成に大きく貢献できるメディアです。市内全域で同じ情報を共

有した人たちによる新しいコミュニティが生まれ、地域を活性化させた例も少なくありません。

当市と同様に市町村合併で誕生した奥州市の奥州エフエム放送(株)が、かつて同社のパーソナリティとして活躍した塩竈一常さんは、その経験から「ラジオはリスナーが共有するコミュニティ。地域の一体感を醸成するのに、これほど適したメディアはありません」と言い切ります。

村上耕一社長は「地域を本当の意味で一つにするには、市全体で情報を共有できる環境が不可欠。コミュニティFMならそれが可能です。市民の暮らしにも、まちづくりにも貢献できるメディアを目指します」と自信をのぞかせます。

情報が地域の発展に大きく影響する時代、一関に特化した一関市民のための情報を、いつでも、どこでも、誰にでも、最速で伝えるコミュニティFMは、ここにしかない唯一無二の財産。電波という見えない糸で、人と人、地域と地域、現在と未来をつなぎます。

無限の可能性を秘めた「あすも」でつながるコミュニティ。明日を開く鍵は、リスナーの私たちが握っています。